

# 重伝建地区の古民家再生プロジェクト～中山道奈良井宿・木曾平沢の重要伝統的建造物群保存地区の街並みを歩いて～

## I. 開催日程等

【日 時】2025年5月14日（水曜日）8：00～19：00

【場 所】長野県塩尻市 奈良井・平沢

【講 師】(株)竹中工務店 まちづくり戦略室長 友保悟郎氏

【施設案内】(株)奈良井まちやど 総支配人 高山京平氏 ほかスタッフのみなさん

【参加者】19名

## II. 活動概要

名古屋駅から貸切バスにて移動し、奈良井宿と木曾平沢という2か所の重要伝統的建造物群保存地区を視察した。まず、奈良井公民館にて、(株)竹中工務店が奈良井宿で手掛けたプロジェクトの背景、事業スキームについてレクチャーを受けた。その後、奈良井宿内を移動し、古民家活用事例であるBYAKU Naraiの諸施設を(株)奈良井まちやどのスタッフの方に案内してもらい見学した。木曾平沢では、1時間程度の自由散策とし、街並み見学や木曾漆器の店舗などを覗いて現在も伝統産業が残るまちの雰囲気味わった。

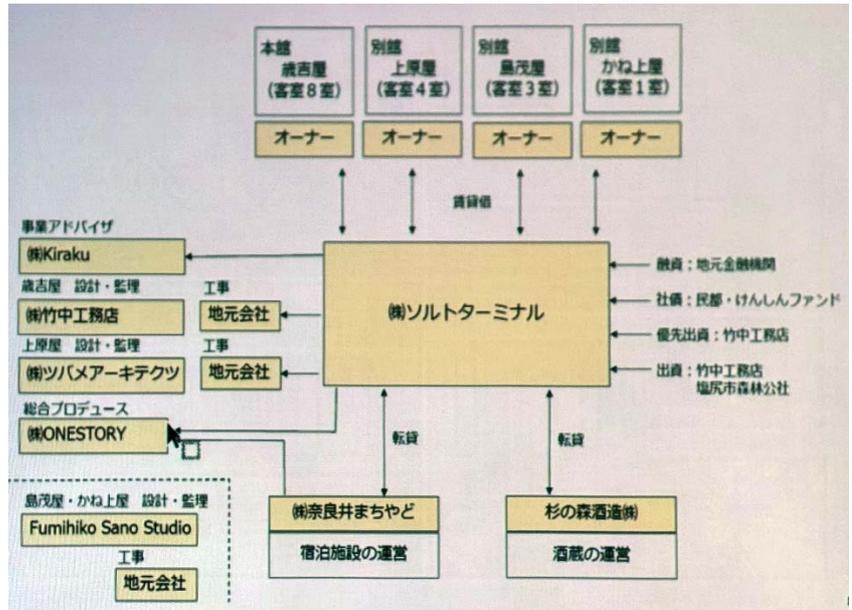
(株)竹中工務店は、「森林グランドサイクル」を創出する活動を進めており、2020年に塩尻市と地域連携協定を締結した。その中のテーマの一つが「木のまちを再生していくこと」であり、塩尻市が誇る歴史文化資源であり、かつて林業が盛んだった「奈良井宿」について地域課題解決に取り組むというものである。かつて街の象徴的存在であった旧杉の森酒造を中心とした空き家群を活用し、酒づくり事業を再興し、旅館、レストラン、浴場などを併設して再生させるプロジェクトを推進した。

(株)竹中工務店と一般社団法人塩尻市森林公社にて設立した(株)ソルトターミナルが事業者となり、施設改修を行い、47PLANNING社が「奈良井まちやど」という事業会社を地元につくり、宿泊、レストラン、風呂、バー、ギャラリー機能を担っている。また、酒蔵の再興は、(株)KIRAKU社が杉の森酒造の株を引き受ける格好で新生「(株)杉の森酒造」が事業を担っている。

当初、地元からは黒船が来たと言われ拒否反応があったとのこと。しかし、勉強会などを続け、地域の良いものを正しく知り、まちへの効果を生み出そうという思いが地元で伝わり、理解が得られ計画が進められたようである。竹中工務店は本来施工会社であるが、メンテナンスのことも考慮し工事は地元の建設会社が行い、地元でメリットがあるよう配慮されている。また、地域に点在する空き家の活用により、スタッフが住みながら働けるようにするなど、持続可能な仕組みをつくっていることが大変素晴らしい。



講師: 友保悟郎氏



奈良井宿まちづくり事業 事業スキーム



講演の様子(奈良井公民館にて)



奈良井宿を移動



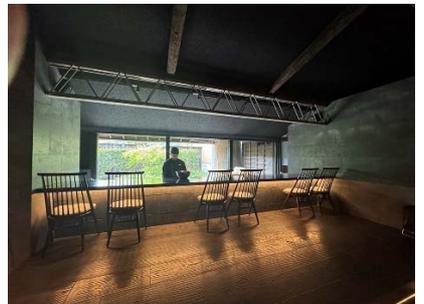
BYAKU Narai の前



BYAKU Narai 宿泊室



BYAKU Narai レストラン



BYAKU Narai バー



BYAKU Narai レストランにて記念写真



木曾平沢の街並み